

「X線分析の進歩」投稿の手引き

本誌投稿の論文掲載にあたっては、報文としての体裁にとらわれず新しい知見や価値あるデータを報告することを最優先としています。形式上の制限は特に設けませんが、次の点を留意の上、ご投稿願います。

1. 本誌に掲載する論文の種類は、X線分析に関連する報文、原著論文、ノート、技術報告、総説、解説、講座、技術資料、国際会議報告とし、これらは他出版物に掲載されていないものに限りです。これら論文は、X線分析の基礎あるいは応用に関し価値ある事実あるいは結論を含むもの、X線分析技術の成果に関する報告でX線分析上有用なものとし、分類は、著者からの申し出を尊重し、編集委員会にて決定します。なお、他出版物に掲載されたものについても、編集委員会の判断で出版を認める場合もあります。本誌への投稿論文は和文のものを推奨しますが、英語論文も受け付けます。
2. 本誌への投稿は通年受け付けますが、12月末日までに投稿された原稿を翌3月下旬に発行の巻に掲載するスケジュールで編集します。投稿された論文は、査読を経て、編集委員会にて掲載可否を決定します。編集委員会は、字句その他の加除修正を行い、あるいはそれを著者に要求することがあります。
3. 投稿は、原則 e-mail で受け付けます。Windows 対応 (Word 等) のデータを、e-mail に直接添付ファイルとして投稿してください。大きいサイズのファイルは、編集委員会宛にあらかじめご相談ください。投稿時の e-mail には「X線分析の進歩」へ投稿する旨、例えば「論文(著者、題目)を“X線分析の進歩”誌に、原著論文として投稿します」というような一文をメール本文に記述し、編集委員会宛にお送りください。
4. 論文題目、全著者名(フルネーム)、全著者の所属機関名およびそれらの住所を、和文と英文で併せて、投稿論文の最初のページに記載してください。また、連絡責任著者の連絡先(Tel, Fax, e-mail アドレス)も最初のページに記してください。原稿は、A4用紙を用い、行数や1行の文字数、フォントサイズは常識的な範囲で執筆してください。投稿原稿はカメラレディーの形式にはせず、図の挿入位置指定や余計なフォーマットは不要です。
5. アブストラクトは、和文と英文を原稿に含めてください。和文アブストラクトは400字程度、英文アブストラクトは300語程度がそれぞれ標準ですが、必ずしもこの制限を守る必要はありません。また、英文アブストラクトは和文の直訳である必要はなく、和文より簡潔な記述でも構いません。
6. キーワードは、論文内容を的確な形で表現したもので、一論文5個程度とし、日本語、英語ともにアブストラクトの次に記入してください。キーワードは、巻末の索引項目としても利用します。
7. 専門用語は、分析化学用語辞典(日本分析化学会編)またはJIS用語を用いることが望ましいですが、必ずしもこの限りではありません。

せん。必要があれば、SI単位以外の単位(Å, Torr, インチ等)を用いても構いません。

8. 引用文献の記載法は、日本分析化学会「分析化学」誌に準じますが、統一が取れていれば、他の形式(例えば Spectrochimica Acta 誌など)でも構いません。

9. 図、表および写真は的確なものを選び、本文中に挿入するのではなく、原稿の末尾につけてください。なお、MS-PowerPoint や MS-Excel 等の汎用ソフトで作成された図表を、本文ファイルに添付提出することも受け付けます。また写真は、JPEG 形式等のデジタルファイルにて、鮮明なものを採用ください。なお、本誌の紙媒体での出版は、白黒印刷です。カラー図面やカラー写真は投稿前に自身で白黒印刷し、例えば色別に表示したグラフ中のラインが区別できるか等を必ず確認するようにお願いします。

10. 図や表および写真の番号は、英文でそれぞれ Fig.1, Table 1, Photo 1 とし、原図や写真には対応する番号を邪魔にならない位置に記入するか、ファイル名で判るようにしてください。説明文(キャプション)等は英文で記述してください。なお、論文全体を通して和文のみのキャプションでも投稿可能ですが、グラフ軸や表項目等は英文に限ります。また、図や写真のキャプション等は原図ページには記入せず、引用文献の次のページにまとめて記載してください。ただし、表の説明文については、表の上に直接挿入しても構いません。図や写真を PDF ファイルで提出される場合には、「高品質印刷」などの設定にて作成をお願いします。

11. 投稿者は、投稿料として表 1 に示す投稿料

(+税)を出版社にお支払いいただきます。ただし、編集委員会から執筆を依頼されたものについては、投稿料のお支払いは必要ありません。投稿者は、全論文を PDF ファイルで収納した CD-ROM 付録の付いた「X線分析の進歩」誌を一部差し上げます。PDF ファイルは、ご自分の論文に限り、自身の Web サイトに掲載可能です(セルフアーカイビングの承認)。紙別刷りは原則として作成しませんので、別途購入希望の方は校正刷り返送の際に出版社に注文をお願いします。

表 1 投稿料(税抜)

| 出来上がり頁数 | 投稿料(円) |
|---------|--------|
| 1 - 6 | 15,000 |
| 7 - 12 | 25,000 |
| 13 - 18 | 35,000 |
| 19 - 24 | 45,000 |
| 25 - 30 | 55,000 |
| 31 - 36 | 65,000 |

12. 本誌に掲載された論文、記事についての著作権は、公益社団法人日本分析化学会 X線分析研究懇談会に属します。本誌は、白黒印刷の紙媒体とカラー画像を含む CD-ROM の出版としますが、将来的にはインターネットでの公開の可能性もあります。

13. 執筆にあたり、他社の論文、成書などから図、表等を転載もしくは引用する場合は、必ず著者自身の責任において、原著者並びに出版社の許諾を得て、出典を明示してください。

原稿の送付先および連絡先

編集委員長

村松康司

xshinpo@eneg.u-hyogo.ac.jp

TEL 079-267-4929